

潘基文（パン・ギムン）

国連事務総長

2011年5月12日～14日、バンコク

第84回国連ウーサクの日のお祝いへのメッセージ

タイ国で開かれる第84回国連ウーサクの日のお祝いに参加される全ての皆様に、心よりのご挨拶を申し上げます。



皆様がお選びになった社会的・経済的發展というテーマは、まさしく現代的なテーマのように響きますが、その核心は、ゴータマ・シッダールタが、2,500年以上前、俗世の所有物を捨て、宮殿から外の世界に出て行って取り組もうとした人間の苦悩という問題そのものに他なりません。

私たちは毎年、ブッダの誕生、悟り、入滅をウーサクの日にお祝いをしておりますが、ブッダは、今日の世界が直面している最も深刻な問題を解決しようとする私達の努力に指針を与えうる非常に深い教えを人類に遺して下さいました。

貪欲、怒り、無知という三毒に対するブッダの^{いさめ}諫めは、この豊かな世界で10億人にも及ぶ人々を不必要に苦しめている飢餓、毎年何百万人もの人々の命を奪っている野蛮な暴力、私たち人間が唯一の故郷、地球に与えている無分別な環境破壊に対処すべく行なわれている多面的な論議に精気を吹き込むことができます。

数多くの仏教組織が、ブッダの教えを実践しています。世界が直面している大きな社会的・経済的難問に取り組むための国連の計画、ミレニアム開発目標を達成するための国連の活動を仏教組織が支援して下さいていることに対して、心より感謝しております。

このウーサクの日に、全ての人々が、仏教の普遍的価値を身につけ、苦しんでいる人々と一体になって行動し、それによってあらゆるものにとってより慈悲のある世界、より啓蒙された世界を作ることに貢献できることを希望しています。